



とっぱずれ



銚子東ロータリークラブ Weekly Bulletin NO. 2255



ピラカンサス 提供：宮内 宗一 氏

第2255回 例会 平成30年10月9日

点 鐘 … 大内 一恭 会長
 ロータリーソング … 我等の生業
 来訪ロータリアン紹介
 … 親睦活動・家族委員会
 会長挨拶 … 大内 一恭 会長
 御祝披露 … 大内 一恭 会長
 誕生祝 … なし
 結婚記念日 … 石井 哲也 会員(10月6日)
 … 中川 進 会員(10月6日)
 入会記念日 … なし
 幹事報告 … 森 はるみ 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓話
 「打つ手は無限・観光銚子」
 銚子市議会議員 鎌倉 金 氏

出席報告 … 出席・プログラム委員会

来週のプログラム (平成30年10月16日)

移動例会
 埼玉方面 越生毛呂RC訪問



BE THE INSPIRATION

インスピレーションになるう

2018-2019年度 RI 会長 バリー・ラシン

第 2254 回例会(平成 30 年 10 月 2 日)

会長挨拶

大内 一恭

本日は、地区米山奨学委員長 富 一美様、米山奨学生 アニス コイルン ニサさんをお迎えしての例会です。後ほどアニスさんには卓話をして頂きます。

当クラブでも台湾からの奨学生 張徳昌君のお話をさせて頂いております。ロータリアンとして海外の学生とふれあえ、本当に貴重な経験をさせて頂いております。

アニスさんはインドネシアの御出身と聞いております。個人的な話になりますが、私の妹がアメリカ留学中に知り合ったインドネシアの青年、彼は中国系インドネシア人でしたが、結婚し 2 人の子供が授かりました。私はジャカルタには行きませんでした、非常に盛大な結婚式だったようです。また、銚子には多くのインドネシアからの実習生が漁船員として働いております。今の日本の漁業はインドネシアからの実習生がいなければ成り立たないと聞いております。そういった意味でも銚子とインドネシアの関係は非常に深いものがあります。

それではアニスさんの卓話楽しみにしております。宜しくお願い致します。

幹事報告

- 1・ガバナー事務所より
 - ・【更新】オンラインツール マニュアルについて
 - ・第 40 回バギオ訪問交流の旅 ご案内 受領
- 2・銚子市社会福祉協議会より
市民バザール大会寄附品について (お礼) 受領
- 3・例会変更のお知らせ
小見川 RC より
10/31(水)→10/27(土)・28(日) 地区大会に振替 受領
旭 RC より
10/31(水)→10/27(土)・28(日) 地区大会に振替 受領
八日市場 RC より
10/9(火)→10/6(土) 点鐘 18:30「黄鶴」
10/7(日)・8(月) 親睦旅行(日光方面) 韓国・富平 RC
との姉妹クラブ交流会及び親睦旅行の振替
10/30(火)→10/28(日) 地区大会の振替の為 受領
☆会報受領 銚子 RC

卓話

「米山奨学生クラブ卓話訪問にあたり」

地区米山記念奨学委員長 富 一美 氏

銚子東の皆様こんにちは。只今ご紹介をいただきました今年度地区米山記念奨学委員長を仰せつかっております成田空港南 RC の 富と申します。どうぞ、宜しく申し上げます。銚子東 RC の皆様には、



日頃から米山奨学事業への活動にご理解とご協力をいただきまして、心から感謝を申し上げます。また、本日は、米山奨学生の「アニス コイルン ニサ」さんを卓話にお招き頂きまして、重ねて御礼申し上げます。ここで、彼女のプロフィールを簡単にご紹介いたしますと、まず、国籍はインドネシアです。大学

は目と鼻の先の城西国際大学で学んでおまして、専攻は、福祉社会を専攻しております。この後、彼女の卓話の中でもその辺の細かいところはお話ししたいと思います。さて、ここで「アニス コイルン ニサ」さんの卓話の前に、米山奨学事業の理解促進のために少しお話しさせていただきます。

◆米山奨学事業は、国際奉仕事業であるという認識をお持ちいただいておりますか？

米山奨学事業は、「国際奨学事業」であり、「国際奉仕事業」です。世話クラブ・カウンセラー制度により、親日家や知日家、ロータリーへの理解者を育て、世界に平和の種をまくのがこの事業です。どれだけ素晴らしい奨学生を育てたかという成果は、世話クラブ並びにカウンセラーさんにかかっています。その辺のところにも、この事業の醍醐味があるわけです。その育てた成果としてロータリアンにしたいという思いから、この度、新規のクラブとして衛星クラブを創ろうという事が決まりました。これは、ガバナーも当然承認しておりますが、米山学友並びにローターアクトが中心となり、ロータリー学友を主体とするクラブでございます。そこにはスポンサークラブより推薦されたロータリアンが数名加わりまして、スポンサークラブが指導育成するものです。当然米山委員会と青少年育成委員会が側面からサポートして行きます。どうぞこの先少しづつ手続きを進めて行きたいと思っておりますので、温かく見守っていただきたいと思っております。

最後に成りますけれども、ロータリーの精神を理解した 米山奨学生を 日本と世界の架け橋に育てること、そして、世界に羽ばたかせることは、私たちロータリアンの誇りでもあります。どうぞ今後とも、ご理解賜りまして、第 2 の奉仕である「ご寄付としてのご支援」も宜しくお願い申し上げます。ニサさんの卓話にバトンタッチさせていただきます。

「米山奨学生卓話」

米山奨学生 アニス コイルン ニサ 氏

銚子東クラブのロータリーの皆様、こんにちは。本日、卓話にお招きいただき、皆様の貴重なお時間を下さり、誠にありがとうございます。私がここまで学業に専念してこられたのは、皆様のご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。



自己紹介・母国の状況

私は東金ロータリークラブの奨学生のアニス コイルン ニサと申します。インドネシアの東ジャワ州の出身地で、現在、城西国際大学大学院福祉総合学研究科福祉社会専攻の修士課程に在籍しております。

私は裕福ではない家族から育てられましたが、家族はいつも笑い声に包まれていました。母が重い病気にかかってしまい、亡くなりましたので、私は父と兄との三人家族です。これまでに、私の故郷の課題は他の市町村に比べると最低賃金がより低いので貧困層である家庭がまだ多くみられます。加えて、低い学歴の親、あるいは、学校へ通うことができない親もまだ多いので良い仕事が見つかりません。低い学歴で良い仕事が見つからなく、低い収入で農業労働者として働くしかないという貧困のサイクルを断ち切るには教育しかないという私の両親は考えました。教育が貧困連鎖を断ち切る一つの確かな方法だとよく両親が

らしっかりと教えました。そのため、どんなに苦しいことや大変なことがあっても必死に父が私の学業をサポートしてくれています。将来が輝くため、経験、勉強が不可欠ことという意識が強く持っている親のおかげで兄と私が大学を卒業できました。

ところで、皆様はインドネシアをご存じでしょうか？インドネシアと言えばどんな事を思い出すでしょうか？「暑い国」「島が多い」「火山、地震、自然災害が多い」という考え方が多いと思います。

インドネシアの人口は、2015年で、2億4,686万人と世界第4位であり、17,000の島々から構成されているという地理的な特徴があります。特に東ジャワ州には水産加工場や漁業もたくさんあります。漁師として働いている人が多く、魚屋さんがたくさんあり、魚を売っていたりして、いつでも安くおいしく新鮮な魚を食べられます。島は海に隔てられて固有の自然と文化を生みやすいです。そのため、インドネシアの自然、民族、言語、文化の多様性は大きいです。分類の仕方によるが、歴史、文化の異なる少なくとも300以上の民族が、700以上の異なる言語を話しています。

また、国民はいずれかの公定宗教を信奉すると考えられ、2013年の宗教省統計ではインドネシア国民の宗教はイスラム教87.21%、キリスト教9.87%（プロテスタント6.96%、カトリック2.91%）、ヒンズー教1.69%、仏教0.72%、儒教0.05%、その他0.50%と述べられました。こうした多種多様な文化、言語、宗教が混在しているインドネシアの国是は「BHINNEKA TUNGGAL IKA(unity in diversity: 多様性の中の統一)、まさに多様性こそがインドネシアという国の活力と魅力の源泉といえます。私の故郷にも多様な文化や異なる宗教が混在していますが、強い共同社会生活の中で、ゴトン・ロヨン（お互いに助け合いや相互扶助）の精神が深く根付き、異なる宗教、民族でも毎日仲良く暮らしています。

先ほど申し上げた通り、インドネシアではイスラム教は一番信仰されている宗教です。しかし、近年イスラム教のことについてのたくさん問題がありました。

ところで、皆様が「イスラム教」と聞くと、どんなイメージを思い浮かべますか。「危ない」、「治安が悪い」、「テロ事件」「過激派」とこのような言葉を頭に思い浮かべる人は多いと思います。これは日本人だけが抱えている感情ではなく、他の国でも同じだと、よくニュースに載っています。近年、ニュースになるのは何か事件が起きたときです。悪い出来事だけが取り上げられるのに対して、良い出来事はニュースになりません。つまり、悪い出来事だけがマスメディアによって報道されているのです。悪いニュースしか耳に入らないと、人は悪いイメージしか持たないものだと考えています。特に近年、テロ事件の多くがイスラム過激派によるものです。しかし一般的なイスラム教徒とイスラム過激派は、考え方が全く違いますし、一般的なイスラム教徒たちはイスラム過激派に反対しています。このポイントは本日の卓話で一番伝えたいです。

私がアルバイトに応募しているとき、私はスカーフをかぶっていますのでよくお店の人は中々採用してくれませんでした。私費学生として、特に裕福な家庭ではない私が、アルバイトをしないと学費や生活費も大変困ります。そこで、私は諦めず、積極的にようやとって周りの人々が私の宗教的なことで困らないように、また、誤解しないように、気楽で話し合ったり、少しずつ正しい情報も伝えたりするように取り組んでいます。おかげさまで、最終的には、私がアルバイトでき、自分で学費も支払うことができるようになりました。異国文化に触れて、違う考え方があるということを知り、経験できたことをとても価値があることだと

思います。私にとって宗教の違いは大きな問題ではありません。インドネシアにも違う宗教の友達たくさんいますが、特に日本へ留学している中、私は多様な国々の人たちと出会いました。彼らは私とは違う宗教ですが、皆がとても優しく、私の宗教に対する偏見や差別もなく、毎日楽しく生活をしています。このように異なる宗教・文化であってもお互いを尊重し合うことが出来れば、国際平和につながる第一歩になると考えが私の中に強く根付いています。

日本へ留学を決めた理由と現在の研究

私は日本へきてから3年に経ちました。高校生の頃から、私は日本文化がとても好きでした。インドネシアで開催された日本祭りやイベントにもよく参加しました。日本文化を知れば知るほど、日本語も話せるようになりたいと思い、インドネシアの大学日本語学科に入学しました。大学では日本語の勉強はもちろん日本文化や歴史を学ぶ機会があったが、私は日本の生活がどのようなものかを実際に経験してみたいと思うようになった。日本語の知識を高めるため、さらに、日本の生活や文化を体験するため、日本へ留学することを決意した。2015年7月に来日し、静岡県ACC国際交流学園で1年8カ月くらい日本語を学んだ。ここでは日本語学習だけではなく日本の現代社会、社会保障制度についても学びました。日本は国民に対する様々なサービスや取り組みが大変充実していると感じました。特に高齢者を支えるための支援です。例えば日本はインドネシアと比べて、高齢者向けの介護施設、デイサービス事業などがとても多いです。また、学校や郵便局などの公的機関と連携した地域住民のサポートやボランティア活動など、インドネシアにはない活動が盛んです。さらに、私はインドネシアでの学部時代に力を注いだことは4年間インドネシアの地域ボランティア活動です。インドネシアの協同組合の趣旨に賛同し、私もボランティアとして参加して貧困層の人々、一人暮らしの高齢者のために役に立ちたいと思ったからです。そのボランティアの経験から、私は日本の福祉についてさらに詳しく勉強したいので、私は日本語学校を卒業し、城西国際大学福祉総合研究科で福祉社会専攻に入学しました。現在研究はインドネシア・ジョグジャカルタ特別州における高齢者ケアについて（日本における地域包括ケアシステムの在り方を参考に）というテーマです。この研究対象は特にジョグジャカルタ特別州を選んだ理由はインドネシアの全国で高齢者数が最も多いのはジョグジャカルタ特別州であり全国で最低賃金も最も低い状況からです。インドネシアで一つの高齢化課題は地方での高齢者数がより多いという特徴であり、加えて、現在までには地域間格差はまだ大きい現状です。そのため、インドネシアにおいても高齢者数の増加に伴って、包括的高齢者ケアへの対策を今から視野に入れておく必要があります。この研究の目的は日本、インドネシア両国では高齢化が進行しています。そのうち日本では高齢者に対する地域包括ケアシステムを自治体ごとに住民と共に構築しています。このように、地域の高齢者に関する問題を地域で解決しようという取り組みは、インドネシアで特にジョグジャカルタ特別州に住む高齢者の問題を解決するヒントを示唆しているように考えられます。私は、日本の福祉の良いところを学び、将来は、その知識をインドネシアで活かしたいと思います。

これまでの米山奨学生になって感じたこと

ロータリーの皆さまにご支援いただけましたこと、経済面の負担が軽減でき、長い時間修士論文の研究を集中できました。いままでいただいた奨学金は授業料、生活費、研究のための文献の購入費として使用させていただいております。皆様の

——ニココ——

おかげで自分の負担を減らすことができることに大きな喜びを感じるとともに、奨学生としてますます気力を慥にして勉学に励んでいきたいと考えております。心を込めて、感謝申し上げます。

米山ロータリーの奨学生になって感じたことはロータリーの「他者理解」がとても素晴らしいとおもいました。最初の奨学生のオリエンテーション、研修会、毎月の例会が開催された時、ロータリアンの方々は私の宗教的に禁止されている飲食や礼拝の時間などを大丈夫かどうかをいつも優しく聞いてくれました。このようなことを、私の宗教的なこと、その場にいたすべての人がそこで理解していると感じ、とても大きな感動と感謝の気持ちでいっぱいになりました。ロータリアンの方々の異文化への理解はとても素晴らしく、その場にいた各国の奨学生は国籍の壁もなく、皆が一人の人間として笑顔があふれる楽しい時間を過ごしました。米山奨学事業のミッションである国際平和と架け橋に私は大きく共感しました。また、奨学生になってから、奨学生同士、カウンセラーの方々やほかのロータリアンとの交流ができて、とても貴重なことだとおもいます。

例えば、先月、幕張海浜公園で学友会によりバーベキュー大会が開催されました。当日の参加者の人数は 147 人で、ロータリアンの方々やそのご家族や友人など大勢の方々と交流ができました。その中で私はハラールフードの焼き物を担当して豚肉以外のお肉を焼いたりしていました。私の焼いているお肉には日本人がよく使うような焼肉のたれは使用できません。なぜならアルコール分が入っているからです。ですので、塩コショウのみでしたが、ハラールフードはムスリム以外の方も食べることが出来ますし、ハラールフードとはどういう意味なのか、何が食べられるのかなど皆さんからたくさんの質問を受け、気が付いたら皆さんと楽しくお話しをしている間に私の焼いているお肉はほとんど売り切れていました。バーベキュー大会はロータリーの目的「奉仕」という他人のために何かをすること、他人のニーズを満たすことを自己の責務として行なうことだとスムーズに実現できるのではないかと考えています。当日は「奉仕」に忙しく私自身が食事を楽しむ時間はありませんでしたが、大勢の方が笑ってバーベキューを楽しみ、またハラールフードに理解を示し、その食事を楽しんでくれた事に感謝しております。このように今回のイベントに例えられたのはロータリーの 4 つのテストのうち(好意と友情を深めるかどうか)という事がバーベキュー大会においてスムーズに実現でき、また(みんなの為になるかどうか)という事が宗教の枠を超えて行えたことはとても素晴らしい経験でした。私は今、米山奨学金を受けながら大学で学ぶことができ、とてもポジティブな気持ちで毎日勉学に励むことができている。将来、私が受けたこの奨学金のように貧困である子どもたちに教育のサポートをしていきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

地区米山記念奨学委員長 富 一美様

米山奨学生卓話にお招きいただきまして、ありがとうございました

大内一恭会長

両ロータリーゴルフコンペにてメンバーに恵まれ優勝出来ました。次回は 11 月 22 日です。オブザーバーの参加もお待ちしております。

澤田武男君

過日のロータリー観月会のパターゴルフで実力通り優勝させて頂きました。

渡邊正宏君

台風の被害が少なかった。

山本嘉一郎君

甥の子供、朝比奈沙羅が柔道世界選手権で女子 78 キロ超で優勝しました。

米山奨学金交付

張 徳昌 君



— 前 回 の 例 会 (10/2) 報 告 —

点 鐘 大内 一恭 会長

出席報告

会員総数	32 名	出席規定除外数	4 名
出席者	32 名	出席率	73.33 %
9月18日		確定出席率	83.87 %

来訪ロータリアン

地区米山記念奨学委員長 富 一美氏
(成田空港南RC)

欠席者 8名

メイクアップ

平野君 釜谷君	(9/30 市民バザール)
石井君	(10/7AG会議)

スモールコインBOX

小 計 ¥ 1,750-

累 計 ¥ 17,005-

ニココBOX

小 計 ¥ 11,000-

累 計 ¥ 59,000-

銚子東ロータリークラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館4階 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 大内一恭 副会長 宮内勝利 幹事 森 はるみ

R. I 第2790地区

クラブ広報・会報委員会 堀 猛・杉浦 武・平幡照正・山本嘉一郎

表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とつぱずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦(古帳庵 古帳女)が銚子に遊んだときに詠んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。